

事業所名

放課後等デイサービス くれよんプラス

支援プログラム

作成日

2024 年

12 月

10 日

法人（事業所）理念		人間は皆同等、共にあゆみ、ともに生きる					
支援方針		小学校1年生～高校3年生までの異年齢の子どもたちとの活動や遊びを通じて、色々な事を学び成長する姿を、ゆっくりと子どもたちの気持ちに寄り添いながら支援していく。また、保護者の思いに耳を傾け、一緒に悩み・考え日々の成長を見守っていく。子どもたちにとって学校や自宅とも違う安心で楽しい居場所になるよう、子どもたちとの信頼関係を築いていく。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康な心と身体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。 ・健康状態の維持・改善 ・生活習慣や生活リズムの形成 ・基本的な生活スキルの獲得 ・生活におけるマネジメントスキルの育成					
	運動・感覚	身体の使い方についてや感覚の活用について支援する。 ・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 ・姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 ・身体の移動能力の向上 ・保有する感覚の活用 ・感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応					
	認知・行動	感覚や認知の偏りを把握し、それから起こりうる環境等への適応の難しさ等への支援を行う。 ・認知の特性についての理解と対応 ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ・行動障害への予防及び対応等					
	言語 コミュニケーション	言葉だけでなく、それぞれの特性や興味・関心に応じたツールを使い、意思の伝達ができるよう支援を行う。 ・コミュニケーションの基礎的能力の向上 ・言語の受容と表出、形成と活用 ・コミュニケーション手段の選択と活用 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ・状況に応じたコミュニケーション ・読み書き能力の向上					
	人間関係 社会性	子どもにとって安心できる信頼関係や環境設定を通し、他者との関わり（人間関係）の育ちを支援する。 ・アタッチメント（愛着）の形成と安定 ・情緒の安定 ・他者との関わり（人間関係）の形成 ・遊びを通じた社会性の促進 ・自己の理解と行動の調整 ・仲間づくりと集団への参加					
家族支援		くれよんプラスや自宅での様子を連絡帳や送迎時に子どもの様子を伝えあい、保護者の方との信頼関係を築き、より良い支援につながるよう心がけている。また、保護者の方の悩みや不安の負担を軽減できるよう相談できる場を設け、必要であれば各関係機関との連携を図る。			移行支援		子どもたちの成長に応じて、保護者の方と話し合いながら、進学・進級・就職に向けて必要な事柄を支援に取り入れ、自立や社会性を身に付けて行けるよう支援する。また、必要に応じて学校等各関係機関との連携も図る。
地域支援・地域連携		各関係機関と連携し、社会資源の把握と活用等も促しながら、子どもたち一人ひとりに応じた地域との繋がりが持てるよう支援する。			職員の質の向上		支援に関する社内・社外研修に積極的に参加し、虐待防止研修・非常時（災害・感染症等）への対策研修を定期的に行い、子どもたちに安心して楽しく過ごしてもらえるよう、支援の質の向上を目指している。
主な行事等		○季節のイベント（お花見・夏祭り・ハロウィン・クリスマス会・初詣・節分・ひな祭り） ○水遊び ○芋ほり ○日々の活動（季節の工作・近隣散策・公園・音楽あそび・外遊び・図書館利用等） ※毎月1回 土曜開所 ※保護者交流会（講演会）					